

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第5区分  
 【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公開番号】特開2005-297885(P2005-297885A)

【公開日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-042

【出願番号】特願2004-119998(P2004-119998)

【国際特許分類】

<b>B 6 0 B</b>	<b>35/02</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 2 1 J</b>	<b>5/02</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 2 1 K</b>	<b>1/40</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 6 0 B</b>	<b>27/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>F 1 6 C</b>	<b>19/18</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

B 6 0 B	35/02	L
B 2 1 J	5/02	C
B 2 1 K	1/40	
B 6 0 B	27/00	B
F 1 6 C	19/18	

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月23日(2007.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上述の様に構成する車輪支持用ハブユニットを自動車に組み付ける場合には、図8に示す様に、上記ハブ1のスプライン孔9に、等速ジョイント用外輪17の外端面に固設したスライン軸18を係合させる。又、上記外輪3を構成する結合フランジ14を、懸架装置を構成するナックル19に結合固定する。この為に、図示の例では、このナックル19に形成した通孔20の内側にボルト21の中間部を、軸方向内側から挿通すると共に、このボルト21の先端部を、上記結合フランジ14に形成した各ねじ孔15、15に螺合し、更に緊締している。又、上記ハブ1を構成する取付フランジ6に、車輪を構成するホイール22と、ブレーキ装置を構成する制動用回転部材23とを支持固定する。この為に、図示の例では、これらホイール22及び制動用回転部材23に形成した通孔24、25の内側に、上記取付フランジ6に固定した各スタッド11の中間部を挿通すると共に、これら各スタッド11の先端部にナット26を螺合し、更に緊締している。